

第3回部活動地域移行準備委員会議事録

日 時：令和5年2月27日

場 所：虹のプラザ「中会議室」

事務局	今年度最後の準備委員会となる。新年度からは検討委員会として開催していくので引き続き御協力を御願います。最初に本多教育長より挨拶申し上げます。
教育長	(あいさつ)
事務局	それでは早速協議に移る。協議の中に意見交換があるが、議事録を録る関係上、マイクを持ってご発言いただくよう御願います。 それでは座長を本多教育長に御願いして進めていく。
教育長	(1)北村山中体連に関する確認事項について事務局より説明を。
事務局	(資料説明) ○「令和5年度から中体連主催大会の～」は県中体連から各学校へ送付された資料の写し。各種目でクラブチームが出場する際の細則。 ○「令和5年度以降のロードマップ」は前回配布のロードマップに加えて、上記細則から重要な部分だけ転記したもの。 ○山形新聞の写しは、国の方針転換を踏まえて、県の検討委員会でも移行完了年度が明示されなかったという記事。 ○「部活動ネクスト」及び広報紙の写しは小中学生保護者、および全町民に対して周知している広報の状況。 (1)について ①全国的な流れもある。許可して問題ないと思われる。 ②これまで通りの対応。 ③当町においては令和5年度はこれまで通りの部活動を継続することを確認している。従って令和5年度は補助金等もこれまで通りの対応とする。クラブチームでの登録を希望する生徒に関しては対象としない(保護者負担とする)。 ④県中体連においてクラブチームの参加は県大会からとされているので該当はないと考えられる。 ⑤日本スポーツ振興センターの判断になると考えるが、おそらく対象とならないと思われるので、クラブチームでの登録を希望する生徒には別途保

	<p>険加入を促すことになる。</p> <p>⑧⑦と同様、対象となる種目はスキーのみである。個別の対応となる。</p> <p>⑥、⑦、⑨については学校関係の事項となるため、金村委員より現時点での対応をお聞きする。</p>
委員	<p>北村山中体連から各市町村へ依頼されたこの質問について、大本は県中体連となる。背景を簡単に説明すると、クラブチームの参加についてはスポーツ庁からの強い要請があり、各都道府県の中体連がそれに従うかたちで承認している。山形県中体連においても同じく。ではクラブチームを指導監督する者は誰かという問題が生じる。一つは地域移行という取り組みの中で市町村が主導となるパターン、実際にクラブチームの参加があるのかどうかも分からない段階だが、明日、県中体連の会議があり、令和5年度の方向性の案が最終決定される。人事異動もあるため4月に入って最初の会議が案ではない決定となる。そんなスケジュール感で動いているということをお聞きいただきありがとうございます。</p> <p>⑥について、これまで北村山中体連の各学校は大会の日を登校日としてきた。だが任意加入という前提の中、令和5年度からは休業日扱いとする学校がいくつか出てきている。休業日であれば出席も欠席もない。大石田中学校は登校日とする扱いを考えているため、クラブチームから参加する生徒も大会に参加する場合出席扱いとしたいと考えている（設置者の指導の元、校長の判断となる）。</p> <p>⑦外部指導者を部活動指導員とするのであれば、部活動指導員は引率・監督ができると法令で定められている。詳細については市町村の判断となるが、現在在籍している部活動指導員については経験も豊富であるし、引率の経験もある。保護者の同意があれば問題ないかと考える。</p> <p>⑨⑥で触れた、出勤日にするか休業日とするかの扱いに準拠すると考える。大石田中学校についてはこれまで通り出勤日での対応となる。</p> <p>任意加入の生徒が増え、部活動に所属していない生徒のほうが多くなるようなときに、学校を登校日にすべきか、休日の大会参加をどうするかということが議題に上がってくるのかと思う。</p>
教育長	<p>細かい部分も多くあったが、最初に各種目ごとにクラブの参加条件の違いがあったが、これは後ほどでよいかと思う。先に中体連の確認事項について、不明点やご意見はあるか。</p>
委員	<p>⑤で生徒の保険の話があった。これまで部活動は教育課程外ではあるが、学校の管理下にあるとして日本スポーツ振興センターの対象となってい</p>

	た。これが学校の管理外となる、つまり日本スポーツ振興センターの対象外となるということは、新たな保険に加入する必要があるということか。
事務局	移行期のこれまで通りの部活動を継続する間は対象となるが、地域移行してクラブチームとなった場合は対象外になると考えられるため、新たな保険への加入が必要になってくると思われる。
委員	先生方も同様ではないか。これまでは指導中の事故は公務災害となっていたわけだが、土日に先生方が兼職で指導する場合、公務災害の適用になるのか。
委員	適用とならない。兼職申請をしてクラブチームで指導者として雇用するのであれば、クラブで何らかの保険に入ることになるのではないかな。 なお、大きな問題として土日の大会に、引率業務として教員が同行した場合は公務災害の適用となるが、大会役員として参加した場合には公務災害の適用外となっている。県教委に永年御願いをしているところである。そのため北村山中体連では、大会役員として参加している教員には保険加入をして役員を依頼している。保護者にも大会役員を依頼することもあるが、PTAの安全互助会でカバーされている。
教育長	現時点で大石田中学校からクラブチームでの参加を希望する生徒はいるのか。
委員	把握しているかぎりではない。
教育長	以前には尾花沢のサッカークラブチームで活動する生徒もいた。令和5年度についてはそういう生徒が出てくれば個別対応すればいいのかなと考えている。 他になければ(2)意見交換となるが、各団体から懸念事項などあれば発言を御願いする。最初にスポーツ推進委員会から。
委員	スポーツ推進委員会から、周辺自治体の動きも見ながら進めていくしかないのかなと思う。先日ニュース番組でも地域移行の番組を見たが、各地区・学校でも悩みを抱えているようだ。現時点でこうすべきだ、というのではないのではないかな。
教育長	大きな動きの中で総合的なスポーツのクラブなんていうのも必要になってくるのかなと思う。 次にスポーツ少年団にお聞きする。
委員	スポーツ活動を見守っている立場としては、指導者がコロコロ変わるというのは望ましくないのかなと思う。指導者によって指導内容が変わるようでは子どもたちは困惑するだろう。競技ごとに軸となる人材が必要。自分

	<p>は剣道がメインなので、ほかの種目、団がどういう状況か把握できているわけではないが、大石田町のスポーツ少年団の特徴は、保護者が団の代表を務めていることかと思う。自分の子どもが卒業すれば、団の運営からも外れる人が多いのが現状。そういう点も踏まえて移行を進めていく必要があるのかと思う。30~40代のメインで指導者となる人数が、人口減少とともに減ってきているのも問題。私も十数年やってきているが剣道では若手と呼ばれる状態。指導者層の継承もうまくやっていく必要がある。</p>
教育長	<p>指導者の問題、仰るとおりだと思う。クラブ化が求められているのもそういうところもあるのかなと思う。核となる指導者をどうやって獲得していくかは非常に大きな課題となる。</p> <p>P T A会長の立場の意見もお聞きしたい。今野委員どうか。</p>
委員	<p>町報を見せてもらったが、大変わかりやすい、伝わりやすい記事になっていると感じた。これを見て、保護者も身近なこととして分かるのではないかと思う。身近なことだと理解して、顧問や保護者会が来年から検討委員会に参加してもらうのはいいことだと思う。</p> <p>中体連の話があったが、中体連の運営は大丈夫なんだろうかと個人的に心配している。現状先生方が役員となって運営している大会が多い。それが顧問でなくなり、出勤日でなくなり、もしかしたら依頼で一本釣りされて役員をすることはあるのかもしれないが、保護者もかり出さないと成り立たない大会もあると聞いている中、そうなったら果たして大会は成立するのだろうかと考えてしまう。</p> <p>大会ありきで活動するわけではないので、生徒が楽しんで活動するためにはどう進めていったらいいか、子どもたちの意見も聞きながらやっていければいい。</p>
教育長	<p>先ほど委員からもあったが、これまで大会役員を担っていた先生方が役員から外れたときどうなるのか、明日の中体連の会議でもそのあたりも話し合われるのではないか。</p> <p>森委員はどうか。</p>
委員	<p>全体の流れを見るしかないのかなと思う。各団体制約もあるようだし、現時点でこうというのは難しい。</p>
教育長	<p>委員からは前回若い人にどうやって参加してもらおうかという視点の意見をいただいた。そういった意見を是非検討委員会でも持っていたいただければと思う。</p> <p>学校関係で委員にお聞きする。</p>
委員	<p>例えば町外のクラブに行きたいという生徒が出てきた場合、どこまで把握</p>

	<p>しておく必要があるのかなど、細かいところまで考え始めると、それぞれの課題について整理して考えないと全体像がつかめないと感じている。これまで先生方が、やったことのない種目の指導をしなければならなかったというのは大きな負担だったと思う。そんな中でも子どもたちは先輩や外部の指導者がいたからなんとかやってこられて、顧問とは言っても技術的な指導はできなかつたと感じている。しかし、じゃあ地域に移行して活動しますとなってもどうなるのか見当がつかない。</p>
教育長	<p>阿部委員はどうか。</p>
委員	<p>先日TVで部活動地域移行の先進地区について放映されていた。TVで扱うからにはプラスイメージの内容なのだろうと思って見ていたら、指導者や、団体の方も多くの問題があるということ公然と言っていた。そんな中、移行完了年度を定めないという報道があり、大丈夫なのだろうかと感じた。一度やると出してしまった以上は、流れが緩やかになるとしても進めていかなければならないのかなと思う。部活動ネクストと町報を見せてもらったが、大変わかりやすく、保護者の方も課題を共通認識してもらえるのかなと感じている。課題が共有されていけば、いずれ保護者からも指導者という話も出てくるのかなと思う。ただ先ほども出た核となる指導者を確保するとなれば必ず財源は必要不可欠で、その負担は保護者だけというわけにはいかないのかなと考えている。あわせて、現在の部活動全ての指導者を確保するのは果たして可能なのかなと考える。町民に共通認識が広がることで、指導者が見つかることを期待したい。</p>
教育長	<p>財源と、部活動の種目という課題を挙げていただいた。持続可能な活動という観点からこれは外せない課題として出てくる。 スポーツクラブ委員から、受け皿として可能かというあたりもふまえてご意見を聞きたい。</p>
委員	<p>大石田スポーツクラブは、現在、成人向けの教室がほとんどで、小学生向けの教室もあるにはあるが、部活動の受け皿としては考えていない。ただこれから地域移行を進めていくにあたり、どこかが統括して受入れを進めていかないと、種目ごとにバラバラではまずいのではないかと感じている。以前、東京の話で、会費が高額で自分が希望するクラブに入れないという問題が起きていると新聞で目にした。 今後地域移行が進み、会費を集めなければならないとなると、種目ごとに差が出てくると思われる。そうすると、やりたい種目のクラブに入れないという子が出てくる恐れがある。そのために国県町の補助を活用していく必要があるが、そのあたりをどこが統一してやっていくのかなどしっかり</p>

	考える必要がある。そういった問題をスポーツクラブが担っていかねばならないのかどうか。そのあたりを心配している。
教育長	受け皿となったらどうなるのかというのは大事な話だと思う。本日芸文協会会長は欠席だが、これに文化系の活動もからんでくる。大きなところの改革と、種目ごとの課題がどうマッチングしていくのか、来年1年かけて検討していかねばならない。 委員から会費についてあったが、事務局から行政サイドの意見はどうか。
事務局	令和5年度からの補助として困窮世帯を対象とした参加費用負担の支援という補助メニューがあるが、それに加えて、全生徒を対象とした会費等に対する補助メニューというのは現時点ではない。もし来年度そういう取り組みをするとすれば、町で独自に行う必要がある。その必要があるのか来々一年情報収集・協議していくことになる。
委員	できるだけ予算を確保し取り組んでほしい。
教育長	グランドデザインを描いて大きく取り組んでいくことも考えられる。町から部活動の交通費として支出している予算は、令和5年も同額で継続していく。 キーワードがいくつか出てきたので確認していく。「核となる指導者の確保」、「若手の発掘」「専門的な立場の人の発掘」「任意加入制」「財源の確保」「部活の種目」「運営の経費」と、大きなキーワードがいくつも出たので、これらを次年度検討委員会で話し合っていく。 次に広報紙について事務局から説明する。
事務局	広報紙の写しをお配りしているが、これらについてこの点をもっと詳しく知りたいとか、他にこんなことを知りたいということがあれば、次回の広報紙に反映したいので事務局までお知らせ願いたい。
教育長	(3)について事務局から説明する。
事務局	(3)大石田町部活動地域移行検討委員会の委員について、準備委員会の委員に加えて、各部活動の顧問と保護者会代表を加えている。
委員	部活動ごとに内部で検討する時間も必要ではないか。いきなり検討委員会ではなく、分科会のようなかたちを持てるスケジュールにしてもらって、検討委員会がスムーズにいくようにしてもらえればよい。
教育長	委員、顧問と保護者の顔合わせなどもあると思うが、いつ頃がよいか。
委員	職員のことを考えると夜間の会議を頻発するのは避けたい。職員の勤務時間で部会などを持つか、電話で意見のすりあわせなどをしてもらって、テーマについて事前に話し合ってもらった方がよい。 書道部、水泳部は設置しているが、在籍がないため保護者会はない。

事務局	委員の指摘通り、事前に各部ごとに話し合いを持ってもらったほうがよいと思う。 参考までにだが、保護者会の役員の改選はいつ頃か。
金村委員	新人戦の前頃となる。
事務局	これを待ってとなると、全体の動きが後ろにずれ込んでしまうので、遅くとも6月頃には1回目の検討委員会を開催したいと考えている。現役員と顧問で話し合いを持ってもらい、5月後半～6月に第1回としたい。 委員からあった、夜間の会議を頻発すると教員の負担になるというご指摘もその通りだと思うので、事務局では例えば1回目のみ顧問の先生にも参加してもらい、2回目からは部活動担当の先生から参加いただき、情報を伝達してもらうようなかたちを考えていた。
教育長	4・5月に部ごとの話し合いを持ってもらい、検討委員会には校長先生が出席しているので顧問の先生の出席は不要として6月なりに第1回を持つということでしょうか。
委員	具体的な案がある。地域クラブ活動を平日2回、土日1回の週3回程度とし、平日の部活動は週2回とし、週5回の活動をベースに考えてくという案。これが軌道に乗ったら、残り2回の部活動も地域クラブ活動に移行していくことにしてはどうか。ただし、指導する人が仕事が終わってからなど時間が確保できることが必要になるので、複数人の確保が必要と思う。例えば柔道スポ少であれば、指導者の層も厚く、夜間の活動も安定して実施できていた。剣道スポ少も同じではないか。
委員	剣道に関しては小学生のみに指導をしており、中学生に対しては(部員が)2名では練習にならないから一緒に活動したらどうかと声がけしたことはある。
委員	当面、週2回の部活動スタイルにしてみてもどうかという案。
教育長	案として検討委員会で話し合っていく。 各種目ごとの顧問と保護者の地域移行に対する考え方を知りたいという意味で検討委員にあげていた。
委員	部活動の時間帯に仕事を休んで指導に来てくれと言うのは無理がある。
委員	指導している時間帯に来てくれれば指導できるというのが基本。
委員	まずは週2回の部活動にしていくという一つの案。
教育長	案の一つとして来年度検討してもらい、令和6年度から実施していくことを目指す。
事務局	移行のパターンの一つとして来年度検討していく。
教育長	来年度の検討委員会のメンバーについて、保護者会がない部活については

	<p>除くとして、この案のとおりでよいか。夜間の会議に教員から出席が大変だとすれば保護者会と話をしてもらい保護者が出てもらうなど。いずれ指導者もはいてもらう必要があるのかなと思う。</p> <p>(4)その他なにかあるか。なければ協議は以上となる。</p>
事務局	<p>委員のみなさまの慎重審議に感謝する。</p> <p>以上で第3回部活動地域移行準備委員会を閉会する。ありがとうございました。</p>